



ベトナム人
実習生が作
った雪だる
ま？イヌだ
そうです。

あじけん通信

2013 JANUARY
VOL.61

株式会社ティビィシィ国際外語学院

企画・編集 澁谷 健司

新年明けましておめでとうございます。
今年もティビィシィ国際外語学院・アジア研修センター、通称「あじけん」で、
日本語学習に励む実習生の皆さんの様子をお届けしてまいります。
どうぞよろしく願いたします。

あじけんスコープ Vol.6 ～あじけんバザー～

毎年恒例の冬物チャリティーバザーが1月8日に行なわれました。来日直後の実習生の皆さんが、日本の寒い冬を乗り切るために、私たちに何か出来ることはないかと始まったこのバザーも、今年で5回目を迎えました。衣類はすべて本校講師・スタッフからの寄付となっていて、幸い実習生の皆さんにも喜んでもらっています。特に近年増えてきているベトナムを始めとする東南アジアの国々からの実習生の皆さんには、たいへん好評の行事となっています。嬉しそうに自分に似合う服を探している皆さんの笑顔がとても印象的でした。



今月の実習生



今月は1月14日の成人式の日には晴れ着姿の新成人と一緒に記念写真を撮った中国からの実習生、鹿中秀さん(右)と李川さん(左)紹介します。

成人式の日には街できれいな着物を着たかわいい女の子たちを見かけました。きれいだなーと思って、「一緒に写真をとってもいいですか」と聞くと、「はい」と、喜んで答えてくれました。とても嬉しかったです。(鹿中秀)

着物を着た日本人の女の子と一緒に写真が撮れて、とてもいい思い出が出来ました。みなさんの人生が幸せになるといいと思いました。

(李川)

あじけん流日本語授業

昨年末、アジ研では、100時間の日本語講習カリキュラムに取り入れている「ハガキの書き方指導」の授業で、実習生の皆さんが、自分達がお世話になる実習実施機関の皆さんに宛てて年賀状を書きました。

授業では、日本では年の終わりに「ねんがじょう」を書く習慣があること。そこには、新年の挨拶だけでなく、相手の健康や1年間の幸福を祈る気持ちも込められていること。干支（えと）という年の数え方があることなど、日本の伝統文化の説明を行ない、その後、実際に年賀状を書いてもらいました。文章自体は、「あけましておめでとうございます」から始まる定型文が中心となりましたが、今年の干支・巳にちなんだイラストを描くなど、個性豊かなハガキが完成しました。皆さんとても楽しそうに活動に取り組んでいました。



自慢の年賀状を持って、「ハイ、チーズ！」

かいしゃのみなさんに、わたしのきもちを おくり
たかったので、ハートのえを かきました。

マリリン

ねんがじょうをかくことは、きんちょうしましたが、
イラストをかいたりして、とてもたのしかったです。

マリア



フィリピン共和国出身：MARILYN SINAJON BACUS (マリリンさん) 左

GERALDIZO MARIA ARCELYN ALFECHE (マリアさん)

※当校ホームページ <http://www.aijken.jp/> からあじけん通信バックナンバーもご覧になれます